

ノルトライン・ヴェストファーレン（NRW）州のメッセの概要

2024年9月

在デュッセルドルフ日本国総領事館

経緯

NRW州のメッセの歴史は、1360年にケルン市がハンザ都市として年間2回のメッセ開催に関する特権を得たことに遡る。デュッセルドルフ市では、1811年に市庁舎に隣接する旧政権官房のホールで産業・貿易展示会が開催され、ナポレオンが訪問したのが始まりとされている。また、エッセンでも1913年からRuhr Commercial Showという名称でメッセが開催されていた。

近代メッセ会場を使用して行われる形態は、1924年に現在メッセ会場となっているケルン市ドイツ地区にハンス・フェアベーク設計によるメッセ会場が建設され、当時のケルン市長アデナウアーによって開館されたのを初めとして、1949年デュッセルドルフ（メッセ・デュッセルドルフ社設立は1947年）、1978年ドルトムント、1982年エッセンで現在のメッセ会社による見本市運営が始まった。

現状

AUMA（ドイツ産業展示・見本市委員会）発行の「2024/25年のドイツ見本市経済展望」に掲載のヴュスト NRW 州首相インタビューによれば、同州はドイツ最大のメッセ中心地（国内で行われる国際的専門見本市の約3割がNRW州開催）であり、デュッセルドルフ、ケルン、エッセン、ドルトムントの4見本市が約80万㎡の会場総面積にドイツ国内外から年間55000社の出展企業と300万人以上の来場者を集めている。周辺産業（ホテル・レストラン・観小売業・メッセ関連業者）への経済波及効果が大きい見本市ビジネスの拡充は州政府の経済成長戦略の一つであり、またDX化の主導的分野としても期待されている。

メッセ・デュッセルドルフは現在、デュッセルドルフ市56.50%、土地管理会社デュッセルドルフ・ライスホルツ20%、ノルトライン・ヴェストファーレン州20%、デュッセルドルフ商工会議所1.75%、デュッセルドルフ手工業会議所1.75%の出資で運営されており、見本市運営会社としては2019年の時点で世界9位の業績を誇る。**メッセ・デュッセルドルフ**で開催される専門見本市は約50件数を数え、毎年あるいは数年周期で開催されている。このうち約20の見本市は国際的・先導的見本市として注目されている。

AUMAによれば、2020～2021年は世界的な新型コロナ感染拡大の下、ドイツの見本市業界全体で各年65～70%の減益となった。**メッセ・デュッセルドルフ**ではグループ全体の2021年売上がコロナ禍前（2019年：378百万€）の約3割まで落ち込んだものの、2022年以降に大幅回復し、2023年には410百万€（最終決算前）となった。2024年5月には大型専門見本市「drupa 国際印刷・メディア産業展」が行われた。また2025年のハイライトは10月開催の「K 国際プラスチック・ゴム産業展」となっている。

メッセ・デュッセルドルフは世界中にネットワークを広げており、141カ国をカバーする77の在外代表部を擁し、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン（東京）、メッセ・デュッセルドルフ・ノースアメリカ（シカゴ）、メッセ・デュッセルドルフ・インディア（ニューデリー）、メッセ・デュッセルドルフ・アジア（シンガポール）、メッセ・デュッセルドルフ・チャイナ（香港）等の直属の子会社が各国からの出展社・来場者のパートナーとして活躍している（ロシア事業は売却）。世界の重要マーケットに設置されたこれら直属の子会社はそれぞれの国内でも見本市を企画運営し、ドイツをはじめヨーロッパ各国からの機械・設備や消費財の輸出促進に大きく寄与している。

<メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンの日本語公式サイト：www.messe-dus.co.jp>

2023年に創設100周年を迎えた**ケルンメッセ**はケルン市79.025%、ノルトライン・ヴェストファーレン州20%、ケルン商工会議所0.725%、その他の関連団体0.25%が出資して運営されている。ケルンメッセの見本市の種類は約70で、毎年あるいは数年の周期で開催されている。**ケルンメッセ**も世界中にネットワークを有し、世界100カ国以上に子会社や在外代表部を設置している。日本法人のケルンメッセ株式会社は、欧州やアジア地域への進出を考えている中小企業、或いは商品ブランドを更に強化しようという企業の見本市への出展参加を斡旋している。また、国際見本市に初出展する企業でも安心して参加できるよう、様々な情報提供を行っている。**ケルンメッセ**はまた、ドイツ連邦経済省からの委託を受けて、2025年大阪・関西万博のドイツ・パビリオンの運営を手掛けている。

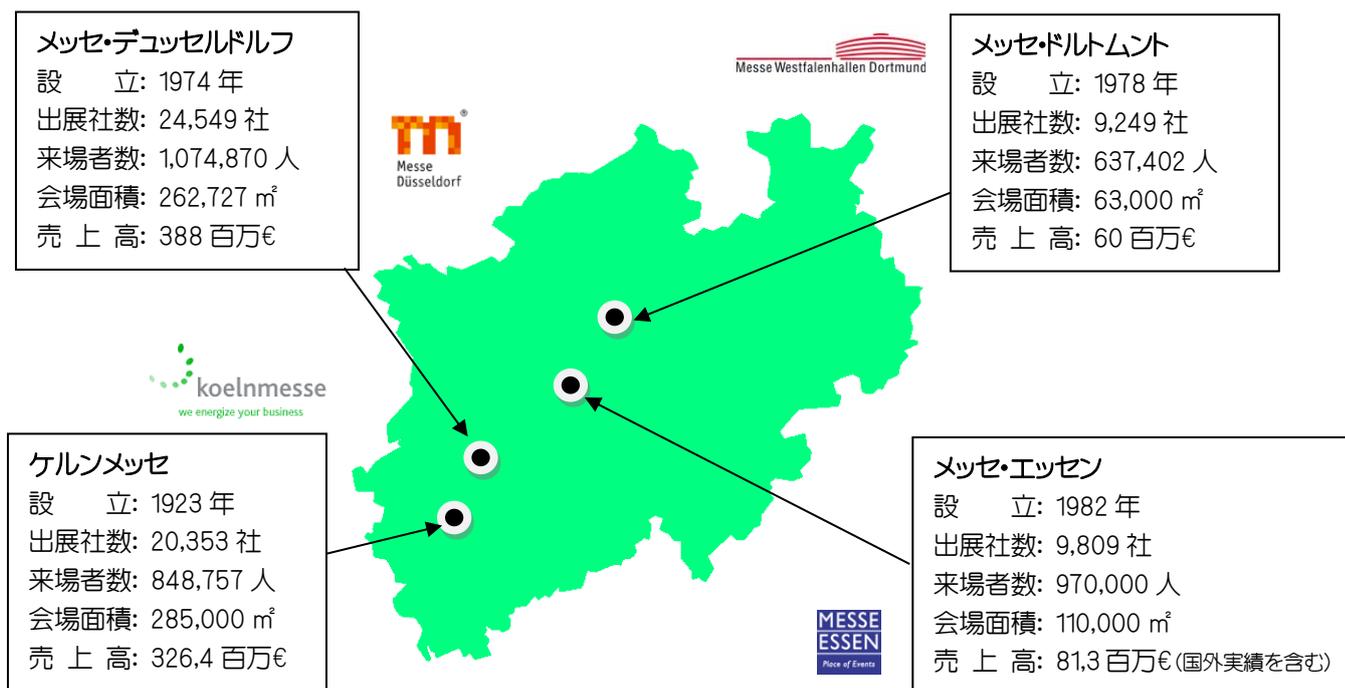
<ケルンメッセ株式会社の日本語公式サイト：www.koelnmesse.jp>

日独経済とメッセ

日本とドイツの見本市の違いは、日本では一般向けに商品を見せる場としての見本市が一般的である一方で、ドイツでは専門家向けの商談の場としての見本市が主流であることである。また、日本では、メッセ会社は会場を貸すことが中心であるが、ドイツではメッセ会社自ら見本市を運営することが多いことも大きな違いである。メッセのメリットは重要な商談・契約の場、交流促進・情報入手の場、企業のグローバル化の場となっていることである。また、同業他社、関連資材メーカー、バイヤーとの情報交換の場として活用されている。

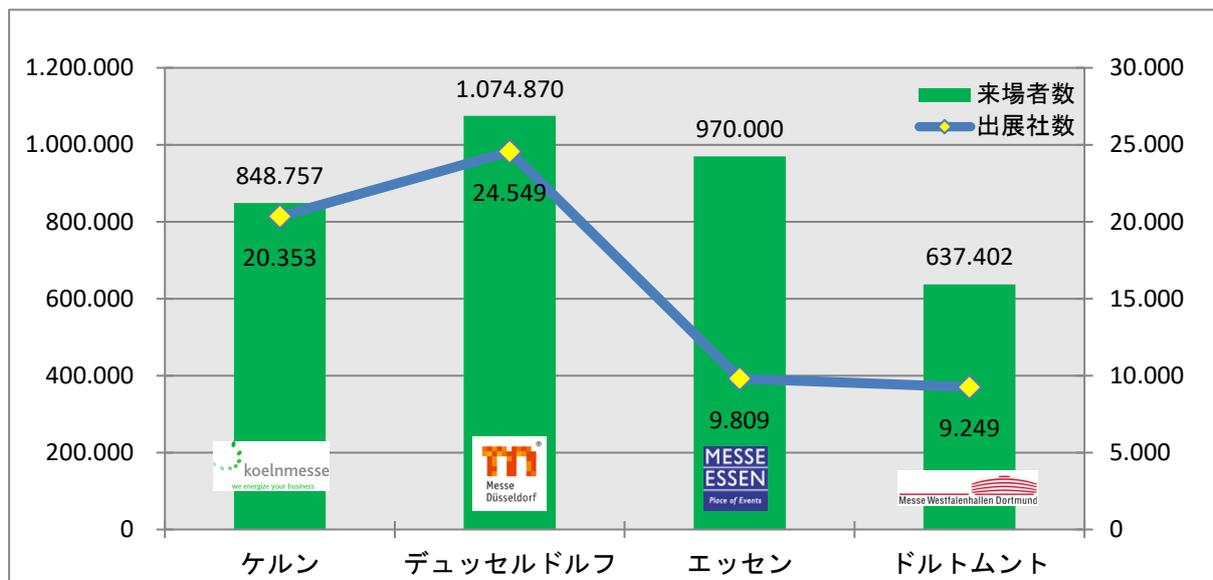
日独経済関係におけるメッセの重要性としては、①日本の業界関係者がメッセツアーに参加して、世界の最新市場動向の把握、世界のトップメーカーとコンタクトの場として活用していること、②メッセへの出展により、ドイツ企業とのコンタクトをきっかけとして駐在員事務所開設に至るケースもあること、③日本においても業界関係者向けの専門見本市を開催することにより、商談の場としてのメッセの可能性が高まることが期待されることがあげられる。

NRW州内の主要メッセ会場 ※ 2023年の実績（各社決算報告書を基に作成）



※この他にバートザルツフレンに見本市会場があるが、NRW州貿易投資振興公社の作成資料においても国際的見本市を開催する州内の見本市会場として上記4会場のみ取り上げていることから、本資料においては当該4会場に関して取り扱う。

出展社数および来場者数（2023年）

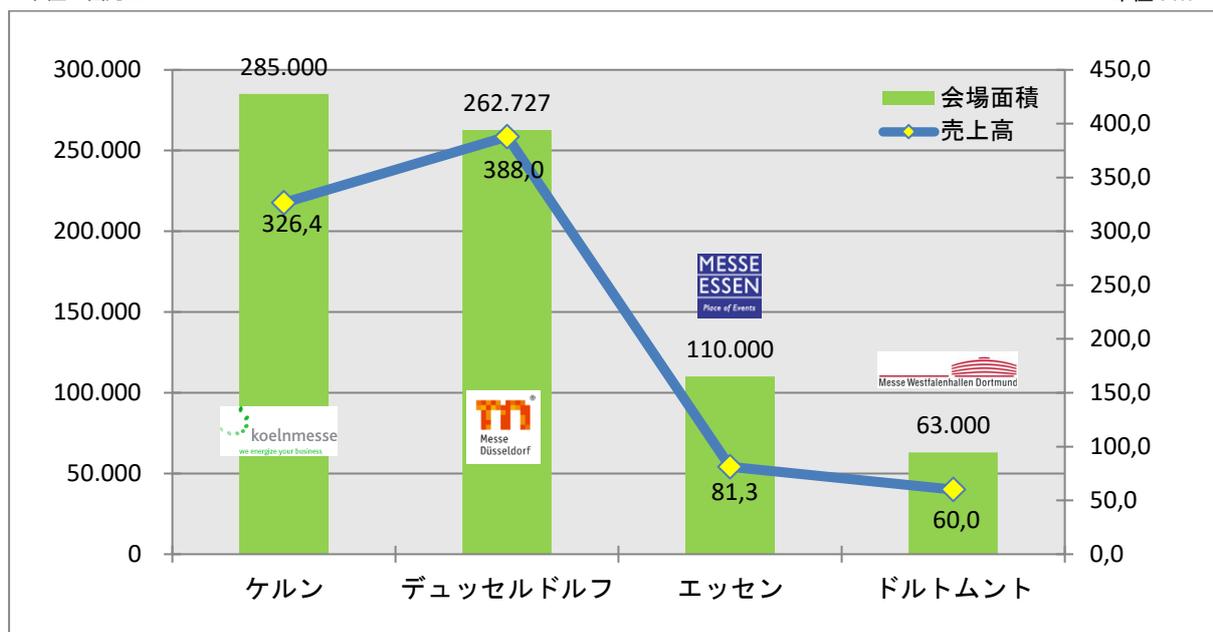


各社決算報告書を基に在デュッセルドルフ総領事館で作成

会場面積および売上高（2023年）

単位：百万ユーロ

単位：㎡



各社決算報告書を基に在デュッセルドルフ総領事館で作成

(参考)

ドイツのメッセの歴史は、1240年7月11日に皇帝フリードリヒ2世がフランクフルト貿易見本市の際にフランクフルト市に貿易見本市都市として特権（欧州各地の諸侯がフランクフルトを訪問する際に通行税免除）を与えたことに始まる。第二次世界大戦後は1947年にハノーバーでメッセが再開され、1948年にフランクフルト、1949年にはデュッセルドルフで再開された。日本における見本市は、1956年(社)東京見本市協会（現在の(株)東京ビッグサイト）の設立に始まる。また、国内2番目となる1989年に開業した千葉県「幕張メッセ」はドイツ語のメッセが由来。



デュッセルドルフ 2024/25/26 年 主要メッセ・スケジュール

2024 年 9 月現在

2024 年

9 月 25 日～28 日	REHACARE	国際リハビリテーション・福祉・介護機材展
10 月 22 日～25 日	glasstec	国際ガラス製造・加工機材展
11 月 11 日～14 日	MEDICA	国際医療機器展
11 月 11 日～14 日	COMPAMED	国際医療機器部品展
12 月 3 日～5 日	VALVE WORLD EXPO	国際バルブ技術会議・専門見本市

2025 年

1 月 18 日～26 日	boot	国際ボート・水上スポーツ展
2 月 18 日～20 日	XPONENTIAL Europe	国際自動走行・無人システム展
2 月 18 日～20 日	EuroCIS	欧州リテール技術展
3 月 16 日～18 日	ProWein	国際ワイン・スピリッツ飲料展
3 月 28 日～30 日	BEAUTY Düsseldorf	国際コスメ・ネイル・フットケア・ウェルネス展
3 月 29 日～30 日	TOP HAIR	国際理美容展
8 月 29 日～9 月 7 日	CARAVAN SALON	国際キャラバン・キャンピング展
10 月 8 日～15 日	K	国際プラスチック・ゴム産業展
11 月 4 日～7 日	A+A	国際労働安全衛生展

2026 年

2 月 22 日～26 日	EuroShop	国際店舗設備・販促機材展
4 月 13 日～17 日	Tube	国際管材製造加工・技術展
4 月 13 日～17 日	wire	国際ワイヤー産業展
5 月 7 日～13 日	interpack	国際加工・包装産業展
6 月 21 日～25 日	METEC	国際冶金展
6 月 21 日～25 日	THERMPROCESS	国際熱処理技術展
6 月 21 日～25 日	NEWCAST	国際鋳造品展・NEWCAST フォーラム
6 月 21 日～25 日	GIFA	国際鋳造展・技術フォーラム

ケルン 2024/25 年 主要メッセ・スケジュール

2024 年 9 月現在

2024 年

10 月 22 日～25 日	ORGATEC	国際オフィス家具設備見本市
11 月 7 日～10 日	ART COLOGNE	ケルン国際美術見本市
12 月 5 日～8 日	INTERMOT	国際オートバイ・スクーター専門見本市

2025 年

2 月 2 日～5 日	ISM	国際菓子見本市
2 月 2 日～5 日	ProSweets Cologne	国際菓子産業・資材メッセ
2 月 8 日～10 日	spoga horse	国際馬具専門見本市
3 月 7 日～9 日	h+h cologne	国際ホビー・手芸用品見本市
4 月 10 日～13 日	FIBO	国際フィットネス・ウェルネス・ヘルス見本市
6 月 24 日～26 日	spoga + gafa	国際ガーデン見本市
8 月 20 日～24 日	gamescom	国際ゲーム産業展
9 月 9 日～11 日	Kind + Jugend	国際ベビー・ヤング用品見本市
10 月 4 日～8 日	ANUGA	国際食品見本市
11 月 6 日～9 日	ART COLOGNE	ケルン国際美術見本市



エッセン 2024/25 年 主要メッセ・スケジュール

2024 年 9 月現在

2024 年

10 月 3 日～6 日	SPIEL	国際ゲーム玩具見本市
11 月 28 日～12 月 8 日	Essen Motor Show	エッセン・モーターショー

2025 年

1 月 28 日～31 日	IPM	国際園芸専門見本市
2 月 11 日～13 日	E-World energy & water	エネルギー関連産業国際見本市
2 月 19 日～23 日	Reise + Camping	国際トラベル・キャンプ見本市
3 月 6 日～12 日	Equitana	国際馬術見本市
9 月 11 日～15 日	SCHWEISSEN & SCHNEIDEN	国際溶接・接合・レーザー加工技術展



ドルトムント 2024/25 年 主要メッセ・スケジュール

2024 年 9 月現在

2024 年

9 月 19 日～21 日	InterTabac	国際たばこ製品・喫煙具見本市
9 月 19 日～21 日	InterSupply	国際たばこ・喫煙関連総合見本市

2025 年

1 月 18 日～19 日	INTERLOOK	国際眼科光学機器専門見本市
3 月 22 日～23 日	CAKE&BAKE	国際ケーキ・ベーカリー見本市
4 月 10 日～13 日	INTERMODELBAU	国際模型見本市